

題 「小田原保健福祉事務所との連携による海水浴場水質調査」



神奈川県の青き海で漁業調査指導船「ほうじょう」は今日も活動しています

令和2年5月、新型コロナウイルスによる自粛期間中の静かな海岸線を見ながら、小田原保健福祉事務所との連携による、海水浴場水質調査を開始しました。

漁業調査指導船「ほうじょう」は、神奈川県内25か所の海水浴場の内、岩海水浴場と湯河原海水浴場の2か所を調査しています。（この2か所は昨年AAの良い結果でした）



小田原保健福祉事務所員による採水状況



採水の他に、水温計測、透明度の測定を行います。この調査は環境省の統一基準で、午前と午後1回、計4回実施します。保健福祉事務所の県職員は、新型コロナウイルス対応で激務の中でも、一日中船で過ごすこととなります。（7月にも第2回目を実施します）

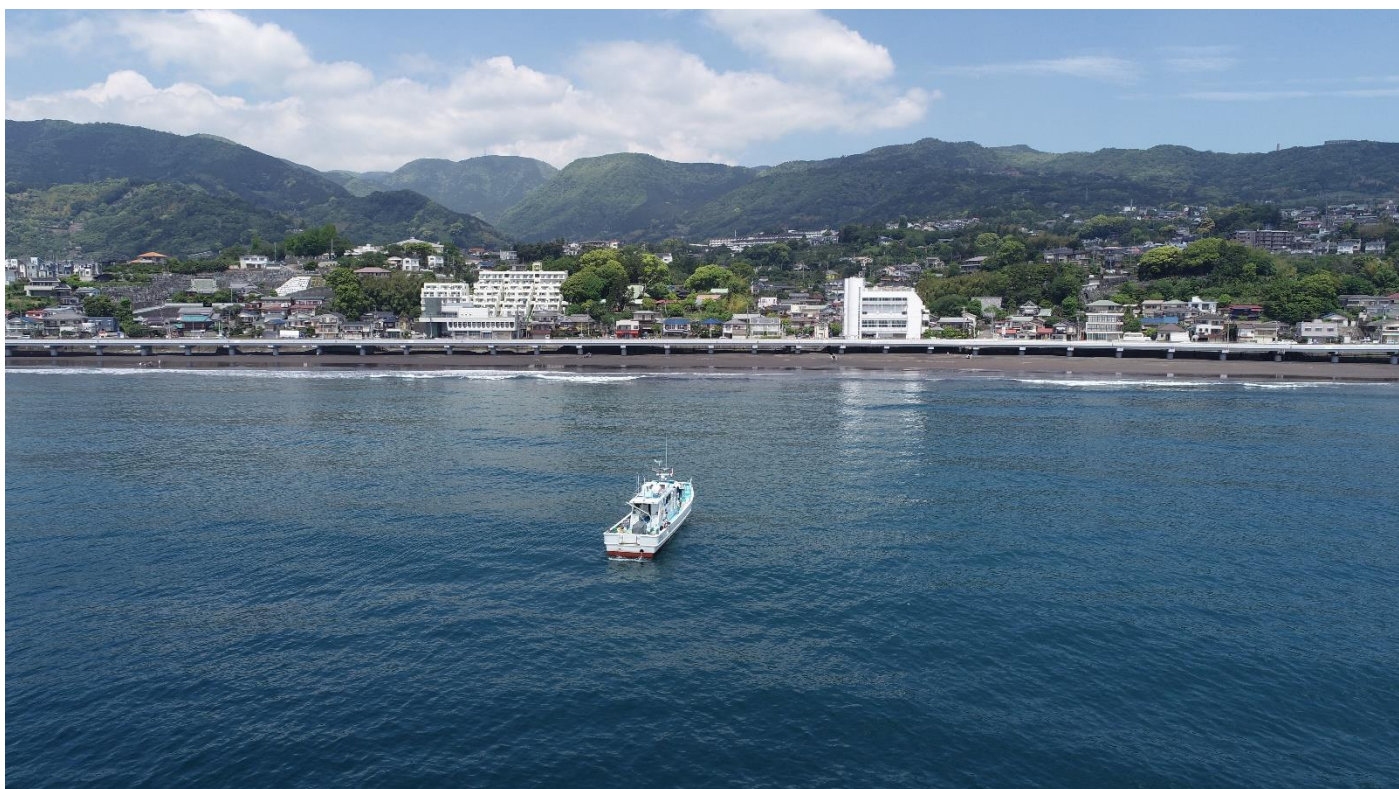
水質検査結果は、県ホームページで公開され、県民の皆さんにお知らせすると共に、貝毒安全対策にも用いられています。

神奈川県では、部局を超えた業務連携を推進しており、この調査は水産技術センター相模湾試験場（環境農政局）と小田原保健福祉事務所（健康医療局）との連携による調査になります。

私たちは、神奈川県豊かな海で子供たちの笑顔を見られることを願いこの調査を実施しましたが、令和2年度の夏、県内25か所の海水浴場は開かれなかったことになりました。

海浜での秩序維持、安全確保に留意して頂けますようお願いいたします。

追伸 5月12日調査日、湯河原海水浴場沖にカジキマグロが勇壮に泳いでいました。



湯河原海水浴場（湯河原町）にて水質調査を行っている漁業調査指導船「ほうじょう」